

# さんむのふるさと散歩

No.4

## 神話から生まれた里神楽

山武市には伝統芸能神楽保存会が6団体活動し、次世代に向け保存・継承するとともに、各神社の祭礼時に合わせ毎年奉納されています。

### 神に奉納する歌舞

本来神楽は、宮中で行われる御神楽と、民間で行われる里神楽があります。この里神楽を代神楽、代々神楽と呼称し、庶民が神話などから引用して演じたものです。

また、庶民の里神楽は、神と庶民が信仰をとおして楽しむもので、昔は村の行事として親しまれ、神の舞でありながら庶民の暮らしの香りが漂い、今日に至っています。

### 松尾地区には4団体が活動

金刀比羅神社の鎮風祭で奉納される琴平神楽保存会（毎年8月第1日曜日）、本



神功皇后の舞 (琴平神楽保存会)

柏稲荷神社の初午の神事で奉納される本柏神楽保存会（毎年3月第2土曜日）、折戸大宮神社春季祭で奉納される折戸神楽保存会（毎年4月5日）、末広神社の例祭において奉納される松尾神楽保存会（毎年7月25日・26日）が活動しています。このように松尾地区は神楽の里として周知されているところですよ。

### 金刀比羅神社の神楽の奉納

琴平神楽保存会により8月6日に奉納が行われまし



田神の舞 (琴平神楽保存会)

た。この神楽の由来は金刀比羅神社本殿が再建されたのを記念して寛文5年（1665年）に奉納されたことが始まりとされています。現在の保存会は昭和53年に結成され、保存・継承に努めています。

当神楽は十二舞六曲からなり、氏子の安全と五穀豊穰を祈念したものです。なお、現在は十二座の舞の内、九座が舞われ三座が演じられなくなりました。

### 成東地区

白幡八幡神社の春と秋の講社祭では、十二面神楽および御子舞が奉納されます。（春3月15日・現在は近い休日、秋は旧暦の8月15日・現在は近い休日）この十二面神楽は明治時代初期に伝えられ、稚児が行う御子舞が付属して現在も行われています。

### 蓮沼地区

五所神社の2月の新年祭に五穀豊穰と氏子の安全を祈念し、十二面神楽保存会により神楽が奉納されます。この保存会は氏子の中でも世襲制があり、父から子、子から孫へと代々順調に承継され、現在もなお受け継がれています。